

# 世界とつながろう

氏名： 逸見 学

学校名： 神戸市立だいいち小学校

担当教科： 全教科

実践教科： 総合的な学習の時間

時間数： 4時間

対象学年： 5年生5クラス 人数： 193人

## 【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：世界とつながろう		
・日本以外の国の文化や生活、課題について考え、行動しようとする態度を培う。		
【2】 単元の評価 規準	（ア） よりよく問題を解決する資質や能力	開発途上国の現状を正しく把握し、解決策を考えることができる。
	（イ） 学び方やものの考え方	日本との相違点に気付き、自分の考えをまとめ発表することができる。
	（ウ） 主体的、創造的、協同的に取り組む態度	開発途上国の学習を通して、自分から調べたいという意欲の高まりや友達と共に学習しようとしている。
	（エ） 自己の生き方	開発途上国でくらす人々の考えを知り、自分の生き方を見つめなおすことができる。
【3】 単元設定の理由	<p>本校は、所在する神戸市と繋がり深い国の文化や遊び等を各学年で学習をしてきている。特に韓国やベトナムについての学習はこれまでも行ってきた。しかし、その他の国についての学習は、ほぼ行ってない。そこで今回の研修先ルワンダを題材として、国際協力や文化や学校の様子について学習する。神戸市は首都キガリ市と経済交流を行っており、これからルワンダを身近な国として子どもたちに感じてもらえるように考えた。加えて、本学年の児童は社会科に興味のある児童が比較的多く、輸出入の学習や産業学習で外国とのつながりを見つけることに意欲的に取り組む児童も多い。社会科で学習した国を地図帳で調べる等、海外の国への興味関心は高い。そこで、外国とのつながりには、貿易や文化、スポーツだけでなく「国際協力」というものがあることを伝え、JICAの活動を題材にすることで、先進国と開発途上国という違いがあることを理解させたい。そして、開発途上国の実際を見て、実際の様子を知ること、来年社会科で国際協力を詳しく学ぶときの一助となると考えた。</p> <p>「世界とつながろう」というテーマには多くの国に興味をもち、自分が当事者として何かできないか考えてほしいという思いを込めた。</p> <p>授業では、ルワンダの様子をできるだけ分かりやすいように、写真の資料を使用しクイズ形式を用いることで、ルワンダに興味をもてるようにした。その中で、日本とルワンダの相違点や共通点について、ワークシートで考えさせるようにした。また、実際の教科書やジェリカンに見立てた20Lタンクを運ぶ等の体験をすることで、ルワンダの子どもたちの様子を詳しく理解させるようにした。</p>	
<p>✓ 児童/生徒観</p> <p>✓ 教材観</p> <p>✓ 指導観</p> <p>✓ 設定時に想定された児童・生徒の姿</p>		

【4】展開計画（全 4時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「世界とのつながりについて考えてみよう。」	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでにどんな国とのつながりを学習してきたか出し合う。</li> <li>2. 世界とのつながりにはどんなつながり方があるか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易</li> <li>・文化（韓国のおそび等）</li> <li>・スポーツ（オリンピック等）</li> <li>・募金</li> <li>・移住</li> </ul> </li> <li>3. 日本が取り組む国際協力について予想する。</li> </ol>	・パワーポイント
2	「国際協力の現場を知ろう」	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開発途上国について知り、どんな国際協力があるか出し合う。</li> <li>2. JICAの活動について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒーバリューチェーン</li> <li>・高等技術専門学校</li> <li>・水の防衛隊</li> </ul> </li> <li>3. JICAの協力について感想を書く。</li> </ol>	・パワーポイント
3	「ルワンダの暮らしを知ろう」	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. JICAが支援しているルワンダちという国はどんな国なのかを出し合う。</li> <li>2. ルワンダの概要を知る。</li> <li>3. ルワンダの暮らしを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでも頭に載せて運ぶ。</li> <li>・給水をしている。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント</li> <li>・バナナの葉で作ったサッカーボール</li> <li>・民族衣装</li> <li>・特別支援学校児童制作の置物やお皿</li> </ul>
4 本時	「ルワンダと日本の学校をくらべてみよう」	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルワンダの学校のイメージを出し合う。</li> <li>2. 学校の様子を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割を作ってみよう。</li> <li>・給食を予想してみよう。</li> <li>・教科書を見てみよう。</li> </ul> </li> <li>3. ルワンダと日本の同じところ、違う所をグループで話し合う。</li> <li>4. ルワンダの学校を学習してみて、感想を書こう。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント</li> <li>・ワークシート</li> <li>・20Lのタンク</li> <li>・ルワンダの教科書</li> </ul>



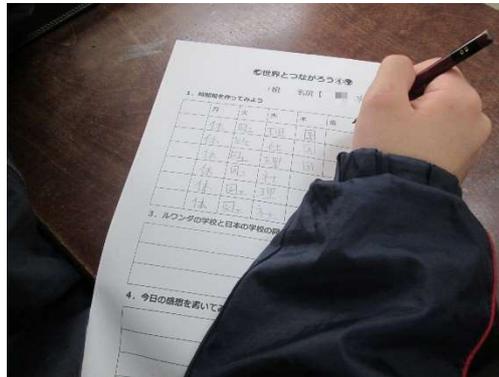
--	--	--	--

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）

①授業風景 1



②本時で使用したワークシート:ルワンダの時間割表を考える



③授業風景 2



【6】 本時の振り返り

各テーマにおける内容が盛りだくさんで、一つの内容を深めることができなかつた。内容は一つに絞り、児童がもう少し考える時間を設けることが必要だった。児童の感想は、小さな気付きがあるのみで、これから自分たちが何かアクションを起こすという所まで考えさせることはできなかった。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化

- ・予想以上に食べ物があることがわかつた。海には面していないけど、川があるので魚はそこで取っているのかなと思った。
- ・自分たちのくらしとくらべて、家をつくるためのざいりょうや、家の中がちがっておどろきました。
- ・いもが主食とかサッカーボールがバナナの皮をかんそうさせて作ったものだと思ってびっくりした。ぼくも一回ルワンダにいったみたいと思いました。
- ・ルワンダはもっとまずしくて、まんぞくするほど食べ物が食べられていないと思ったけど、市場やスーパーに食べ物があつて安心しました。
- ・ぼくは、最初もっとまずしく、スーパーとかでも小さく豆とかしか売ってないのかと思いました。でも食生活には困らなさそうだったので安心しました。
- ・ルワンダは意外とよかできれいにされているし、すごかつた。自分たちのくらしと比べたら、ちょっとまずしいけど、思っていたよりみんな元気だった。
- ・開発途上国でも車や食べ物がないというわけではないということがわかりました。

- ・ルワンダという国は、すごく明るそうな国で野菜などもいっぱいありいろいろな食べ物があった。初めて知ったことは頭の上にもいろいろなものを乗せていること。自分たちのくらしと比べてすごくちがうくらしをルワンダの人たちはしているということがわかった。
- ・ルワンダという国はまずしい国だと思ったから勉強するのがしんどいだったけど、意外にごはんがいろいろあるから安心した。また、ルワンダの子たちと会ってみたいと思った。ルワンダでがんばっている子がいると気づいて、自分もがんばろうと思った。
- ・20年くらい前に国の中の戦争があったと聞いて、よく今があるなと感心しました。それと、もし、戦争（国の中の）がなければ日本みたいに良い国！？になっていたかな？と思いました。
- ・開発途上国ともっと協力していきたい。
- ・もっと開発途上国のことを知りたい。

【途上国・異文化への意識の変容】

(授業前)

- ・神戸市民にとって馴染み深い、韓国やベトナムの文化や暮らしについての関心はあり、また、ラグビーワールドカップの影響で出場国は言えるという児童もいた。また社会科の輸出入の関係国について関心の高い児童が多い。

(授業後)

- ・開発途上国への興味関心が高まり、アフリカ大陸の国々にも興味をむけるようになった。また、ルワンダの文化や学校教育に触れることで、国は違っても意外と日本と同じ点、また大きく違う点にも気づき、自分たちの環境が恵まれていることにも気付いていた。

【8】自己評価

<p>1. 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルワンダを題材にするときに、ジェノサイドをどのようにして子どもたちに伝えたら良いのか悩んだ。そのため、今回は開発途上国の一つとしてのルワンダという扱い方になった。その中で、ジェノサイドについては、ルワンダ国内での戦争という形でしか伝えることが出来なかった。ルワンダでの学びを子どもたちに伝えるために噛み砕くことが難しく、実際には浅い内容になってしまった。</li> </ul>
<p>2. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の実践授業では、一つの開発途上国の現状を知るだけの内容になってしまい、児童らが自ら考え、行動に移すまでを実践することができなかった。この課題を3学期に再考し、子どもたちが自分で考えアクションを起こせるようにする。</li> </ul> <p><b>改善内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加6時間を設定し、10時間単元として行う。追加する内容は、他の開発途上国について調べる、そして各国の課題を発表し、自分たちができる事を考え、校外に発表する機会を設ける、など。</li> </ul>

<p>3. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に韓国やベトナム、先進国のことについての興味が多かったが、その他開発途上国にも興味を持つようになった。</li> <li>・ルワンダの暮らしの様子をみて、自分たちのイメージする開発途上国のイメージとのギャップや実際の課題について考えることができる児童が増えた。また、開発途上国と協力していきたいという意見もみられた。</li> </ul>
------------------	--

添付資料：

ワークシート

- ・世界とつながろう～ルワンダってどんな国？～
- ・世界とつながろう①
- ・今まで学習した国を思い出そう

参考資料：

中地フキコ『ルワンダに教育の種を～内戦を生きぬいた女性・マリールイズの物語～』、かもがわ出版、2011年

どうなってるの？世界と日本 第二版 独立行政法人国際協力機構





# 世界とつながろう①

2. 世界とのつながり方には、どんなつながりがあるか考えてみよう。

◎国際協力ってどんな協力をしているんだろう。

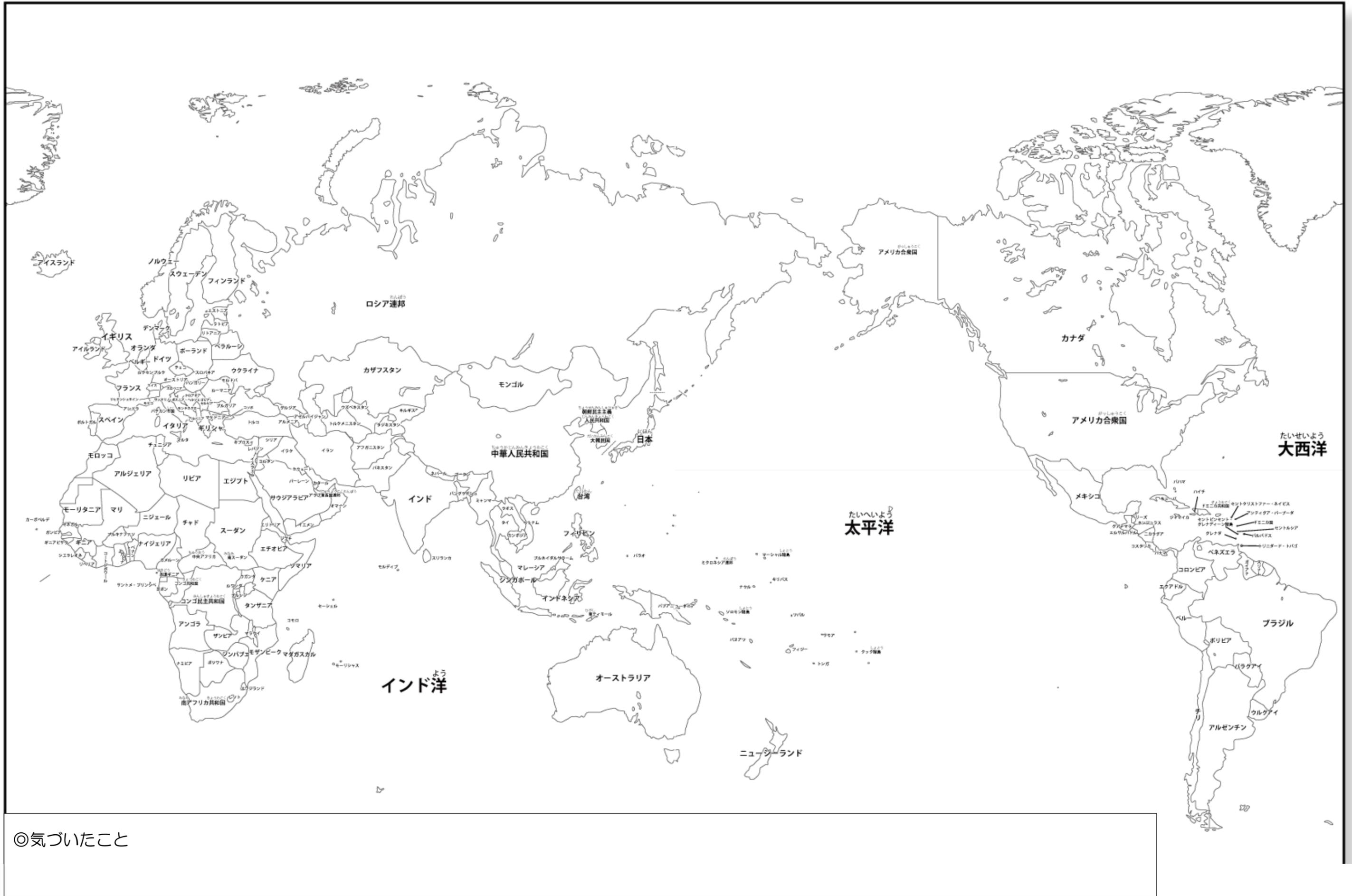
5年組名前( )

3. 日本が取り組む国際協力( )の活動の様子。

国際協力とは

・・・( )

1. 今まで学習した国を思い出そう



◎気づいたこと